

令和2年度 第4回 静岡市健康福祉審議会 児童福祉専門分科会 議事要旨

- 1 日 時 令和3年2月12日（金）～令和3年3月31日（水）
- 2 開催方法 電子メール等による開催
- 3 出席者 （委員）白木会長、今村委員、大橋委員、垣見委員、佐々木委員、
下山委員、田中委員、寺尾委員、長阪委員、糠谷委員、
増田委員、松本委員、三森委員、村山委員、望月委員

（事務局）子ども未来局 子ども未来課
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題 （1）保育所等の設置認可等に係る意見聴取について
（2）「静岡市子ども・子育て・若者プラン」令和3年度実施計画について
- 6 会議内容
（1）開催の経過
令和3年2月12日（金） 委員に対し開催通知を送付
令和3年2月19日（金） 委員に対し会議資料を送付
令和3年2月19日（金）
～令和3年3月5日（金） 委員から意見書の提出
令和3年3月31日（水） 委員意見に対する事務局回答を送付、閉会

（2）審議内容
別紙1及び別紙2のとおり

以上

1 質問及び回答

委員	質問	回答
垣見委員	あい保育園国吉田について、2号定員の減少を行っているが、園利用希望者に報告しているのか。	新規入園希望者に対しては、入園前のオリエンテーションにて定員数を報告している。在園児については、令和3年4月の保護者説明会で定員について説明する予定。
今村委員	静岡西南区域について、幼稚園の認定こども園移行によって保育定員の拡大を図るとあるが、移行する園について目途は立っているのか。 また、静岡西南区域の園について令和3年4月の0歳児の入園率が良くないと聞かすが、その中で、認定こども園移行をして保育定員の拡大を図るのか。	認定こども園移行を検討している園はある。 保育定員の拡大については、年度後半に増加する保育ニーズに対応するため、『静岡市子ども・子育て・若者プラン』における量の見込みと確保方策に基づいて行うものとしており、静岡西南区域については、計画上0歳児の不足が生じているため、保育定員の拡大を行う。

2 意見

委員	意見
田中委員	保育施設は親同士の送迎時間がそれぞれ異なることが多く、保護者同士の育児相談等をする時間が少ないと感じる。園が保護者を対象として実施する、家庭教育学級のような取組を推進してはどうか。
寺尾委員	認定こども園として運営している園の名称が「幼稚園」とされているケースがあるが、純粋な幼稚園と区別がつかないため、〇〇こども園とした方が良いのではないかと。

No.	事業名 (担当課)	区分	質問及び意見	回答
20	放課後児童クラブの運営 (子ども未来課)	令和 3 年度取組内容 (予定)	放課後児童クラブの運営については、これまで継続した拡充施策を背景に、特に就業する保護者、家庭にとってその成果・影響は大きいものと理解しています。 一方で、地域 (学区) ごとには、ハード面の整備の遅れや、希望児童数が年々増加し、定員超えとなっている等、課題が残されていることも事実であります。 引き続き、子育てと仕事の両立を支援する環境整備に向けて継続した取組をお願い致します。 (望月委員)	この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 今後も、放課後児童クラブの拡充などに取り組み、子育てと仕事の両立を支援する環境づくりを推進していきます。
22	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施 (子ども未来課・教育総務課)	令和 2 年度取組内容・成果 (見込み)	令和 2 年度に 62 校実施して問題点はなかったのか？ (垣見委員)	令和 2 年度につきまして、一体的に実施することでの大きな問題等はございませんでした。両事業の一体的実施については、事業実施当初より子ども未来課と教育総務課で連携し、子どもたちにとって安全・安心な活動の場となるよう調整してきました。今後も両課の連携を継続し、順次拡大していきたいと考えております。
		令和 3 年度取組内容 (予定)	令和 3 年度 5 校増えているが、家庭の状況が違う子どもたち一緒に問題がなければ、更に増やして頂きたい。	
69	ICT を生かした教育の推進 (学校教育課)	令和 2 年度取組内容・成果 (見込み)	新型コロナの影響で GIGA スクール構想が始まったが、令和 2 年度で一人 1 台タブレットは行きわたったのだろうか。 (村山委員)	令和 2 年度中に、小学校 4 年生から中学 3 年生の人数分にあたる約 31,000 台の端末が市内の小中学校に配備される予定で配備作業を進めています。小学 1 年生から 3 年生については、令和 3 年度にまずは小学 3 年生分の端末を導入する予定です。 端末の使用については、教育センターで教員向けの活用研修を実施し、主要教科を含む様々な教科での効果的な活用を実現していく予定です。
		令和 3 年度取組内容 (予定)	令和 2 年度からの使用で慣れてくれば、教科も道徳や総合学習だけでなく主要教科も取り入れられていくのだろうか。 (村山委員)	
76	福祉教育の推進 (学校教育課)	令和 2 年度取組内容・成果 (見込み)	終了する福祉教育が今後なくなるのは、大変残念です。 (田中委員)	人権教育や道徳教育の中に、福祉教育が含まれています。 人権教育では、教員が個別の人権課題についての知識理解

				<p>を深め、人権感覚を高めることで、児童生徒に対し、より良い指導ができます。学校や地域の実態に応じて、全教育活動を通して指導していきます。</p> <p>また、道徳の価値項目の中にも、福祉にかかわるものが多くあります。物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲、と態度を育てていきます。</p> <p>福祉教育を広く捉え、今後も人権教育・道徳教育等の中で行っていきます。</p>
89	地域学校協働活動推進事業 (教育総務課)	令和2年度取組内容・成果(見込み)	<p>成果値は学校数のみではなく、各学校における実施日をカウントして平均実施日を算出するほうが良い(現状だと年間で1日でも「実施」になる)。</p> <p>(白木委員)</p>	<p>成果指標の算出方法についてのご意見ですが、実施日の実数の方がより成果値として適していると考えられるので、具体的な成果値の実数も検討しつつ、今後の『子ども・子育て・若者プラン』の見直しに合わせて、変更できるように検討させていただきます。</p>
		その他	令和8年度目標値も同上	
171	ひきこもり対策推進事業 (青少年育成課)	令和3年度取組内容(予定)	<p>ひきこもり支援が拡充したのは大変よいとおもいます。8050問題は身近でよくきくようになってしまいました。50,60代の未就労(長期間)にも目を向けねばなりません。</p> <p>(田中委員)</p>	<p>ひきこもり対策推進事業にご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>本市のひきこもり地域支援センターの相談についても、当事者の高齢化が見られるようになり、地域包括支援センターをはじめとした、福祉関係機関との連携を進め8050問題への対応に取り組んでいるところです。</p> <p>その中で、就労支援を必要とする方については、ジョブステーションや地域若者サポートステーション等の就労関係機関と連携し、支援を進めております。</p>
			<p>ひきこもり家族(親)、当事者への継続的な相談、他の連携機関との連携強化が必要。ひきこもりサポーターの活用として家族会への派遣なども考えられる。</p> <p>(三森委員)</p>	<p>ひきこもりに悩む当事者・家庭に対する支援体制を強化するために令和3年度よりひきこもり地域支援センターのスタッフを1名増員し、アウトリーチ型の支援や他機関との連携支援の充実を図っていきます。</p> <p>ひきこもりサポーターについては、令和元年度より登録を</p>

				開始し、随時ひきこもり地域支援センターの居場所活動や家族教室への派遣を行っています。家族会等他の支援機関からの要請に対しても派遣が可能である体制を作っていきます。
181	スクールソーシャルワーカー活用事業 (児童生徒支援課)	令和2年度取組内容・成果(見込み)	スクールソーシャルワーカー12名では足りないと思います。SSWから実際の活躍ぶりを知りたいです。 (田中委員)	スクールソーシャルワーカーが具体的な支援方法等を教員に伝えたり、共にケース対応したりすることを通して、教員の福祉的な問題解決力向上を図っています。また、教員がケースの初期対応を行い、スクールソーシャルワーカーが重篤なケースの対応や教員への助言を行うなど役割を分担しながら取り組んでいます。 現在、各小中学校からの支援の要望があったケースについては、全て対応することができていると捉えています。 事例としては、生活困窮やこどもの育てにくさを吐露した母親を子育て支援課や放課後児童クラブにつなげ、生活支援や子育ての支援を行ったケースがあります。
193	成人の日事業 (青少年育成課)	その他	静岡市が実施している成人式式典は新成人に成人としての自覚を促す上で大きな意味を持っている。それと共に、清水区では地域に愛着を持つ若者を育てるために自治会単位で手作りの成人式を実施している所がある。そうした地区に開催のための助成、支援ができないか。 (下山委員)	静岡市成人式は、合併後10年を契機とした成人式の在り方を検討した検討委員会の提言により、現在、全市の新成人を対象として、新成人が主体となった式典の運営を行っております。財政的支援については、静岡市の成人式を、全市一斉の一か所集中開催の成人式を開催することにした際に、検討を重ねた結果、清水区各地区への補助金を廃止した経緯があります。 一方で、地域が主体となって新成人を祝うことは、地域コミュニティの醸成などに大きく寄与しており、地域の文化として根付いていることから、大変有意義であると考えておりますので、今後も引き続き自治会と連携を図り、助成以外での支援等を検討してまいりたいと考えています。

252	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業 (青少年育成課)	令和2年度取組内容・成果(見込み)	婚活事業は成果はあるのでしょうか・疑問です。学生向けに婚活以前に、“人とのコミュニケーション講座を”はじめないと難しいかもしれません。 (田中委員)	当事業は平成26年度より開始し、イベントによる「出会い機会の創出」、各種情報発信による「意識啓発」、地域ぐるみで結婚を応援する「機運の醸成」等を実施してまいりました。成婚面での成果(H26～R3.2末)として、出会いイベントを117回開催しのべ2,953人が参加、カップル成立数は450組で成立率33.2%となっており、この内18組(36人)が成婚に至っております。 また、参加者へのアンケートによると、本事業への参加をきっかけに婚活を本格化させるなどの動きが顕著であることから、市による結婚支援事業は、民間にはない安心感があり、婚活に消極的で不安を抱く若者にとって、気軽に参加できる婚活への踏み出し支援につながっていると考えております。 人とのコミュニケーション講座については、当課でも重要と考えておりますので、イベントと併せて「異性とのコミュニケーション方法」等をテーマにしたセミナーを実施しているところです。
258	結婚新生活支補助金事業 (青少年育成課)	令和3年度取組内容(予定)	年齢制限がもう少し上げてもらえたらという意見を耳にしました。 (大橋委員)	本事業の対象年齢については、内閣府からの実施要領に沿ったものとなっております。要領においては、少子化対策の一環として、限られた財源の中で、本事業の効果を最大限に高めるために、若者にターゲットを絞り、婚姻に伴う経済的負担を軽減するよう、年齢制限を設けています。 なお、令和3年度については、コロナ禍における経済打撃や将来への不安が結婚に及ぼす影響を考慮し、対象年齢や所得制限等の要件が緩和されます。
262	子育て支援ヘルパー派遣事業 (子ども家庭課)	その他	清水区について、ヘルパー派遣を請負事業所が少ないのと、その事業所2ヶ所とも介護ヘルパーに人が取られ子育てヘルパーへの余裕がない所があります。新たに子育てへ	子育て支援ヘルパー派遣事業は、1歳未満の子を養育する者で家事・育児の困難な家庭や、3歳未満の子を二人以上養育する家庭、また妊娠中で体調不良のため家事が困難な

			<p>ルパーに特化しヘルパー育成している派遣事業に携わる事業所に委託してもらおう事を望みます。</p> <p>(佐々木委員)</p>	<p>家庭にヘルパーを派遣する事業です。</p> <p>委員からご指摘のありました事業所につきましては、利用者のお宅にヘルパーが出向き、家事や育児の援助を適切に行うことができる事業者による事業を実施していただきたいことから、静岡市子育て支援ヘルパー派遣事業実施要綱の第7条第1項で、指定訪問介護事業者や同等のサービスを提供できる事業者と定めております。</p> <p>本市の子育て支援ヘルパー派遣事業の実施についてご検討されている事業者様には、個別に制度や委託内容の説明等をさせていただきたいと考えています。</p>
308	<p>保育補助者雇上強化事業費 (幼保支援課)</p>	<p>その他</p>	<p>こちらのプランになるのか分からないのですが、保育補助員を資格なくてもやりたいと思っている方はいらっしゃいます。</p> <p>保育士資格、または保育支援員について情報が薄く、今まで何人かの方に研修や講座、夜間でも学べる所を紹介した事があります。</p> <p>保育に関わる支援の呼びかけ、学びの場、資格取得に対する助成の呼びかけをチラシやホームページだけでなく工夫して頂けたらと思います。</p> <p>子育て支援に関わる方の中には、やりたいと思う方が多いように感じます。</p> <p>保育を地域でできるように、支援が広がるようになるとよいです。</p> <p>(佐々木委員)</p>	<p>ご意見をいただきました「保育補助者雇上強化事業費」につきましては、新たに保育補助者を雇用する施設に対して、保育士の業務負担を軽減し保育士の離職防止を図ることにより、保育環境の向上と施設の円滑な運営を図るため、人件費等の補助を行う事業となっております。</p> <p>また、ご意見にあります保育士資格の取得支援につきましては、保育士確保対策の一環として、「保育士修学資金等貸付事業」を行っております。この事業では、保育士資格取得に必要な修学資金等を貸し付け、資格取得後一定期間保育職に就労した場合には、返還を免除しています。保育士養成校、高校に加え、保育にかかわる仕事に興味のある方向けの就職説明会等で制度の周知を行っております。</p> <p>さらに、保育補助者につきましては、潜在保育士等の再就職を支援している「保育士・保育所支援センター」において、令和3年度から新たに、保育補助者のマッチングを行う事業等を拡充し、求職者と求人者のマッチング機能の向上を図ってまいります。</p>

326	青少年・乳児ふれあい促進事業 (子ども未来課)	その他	乳幼児と青少年の交流事業ですが、同様に、小・中学生と高齢者の交流事業も今後、未来の介護業界を担う人達として、事業が必要だとおもいました。私は包括支援センター勤務なので、S型サービスと学校をつなぐことができるとおもいました。 (田中委員)	「青少年・乳児ふれあい促進事業」につきましては、児童館の指定管理者である社会福祉法人静岡市社会福祉協議会にて実施している事業になります。これまで、市内の児童館では、小・中学生と高齢者の世代間交流事業や、デイサービスとの連携事業も実施しておりますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施ができていない状況になります。感染症の状況を踏まえ、いただいたご意見は、指定管理者にも共有し、今後の運営の参考とさせていただきます。
348	子ども若者相談事業 (青少年育成課)	令和3年度取組内容(予定)	相談事業が電話対応になっているが、SNS対応も始めた方が良いと思います。 (寺尾委員)	SNSを活用した相談については、現在、静岡県が15歳から39歳までの子ども・若者を対象にした相談窓口を、平日・土日祝日に開設して実施しており、静岡市の子ども・若者が利用することができる環境となっています。静岡県とは、相談内容等について、必要に応じて情報共有をしており、連携した支援ができるような体制をつくっています。今後については、相談ニーズ等を分析しながら、将来的な対応の在り方を検討していきます。
352	市立こども園医療的ケア児受入事業 (こども園課)	令和3年度取組内容(予定)	令和3年度の新規事業実施に向かって、進んでいると思いますが、実施する保育現場の受け入れ態勢の整備状況等、医療的ケア児の入園状況を教えてください。 (今村委員)	医療的ケア児について、訪問看護ステーションの看護師を医療的ケアが必要な時間に合わせて派遣することにより確保し、また、医療的ケアの実施等に必要なスペース確保のための改修を行うとともに、保育教諭の医療的ケアへの知識向上に努め、令和3年4月から4人を受入れていきます。
353	私立こども園・保育所等特別支援保育事業 (幼保支援課)	令和3年度取組内容(予定)	発達気になる子どもがふえています。保護者にも支援の手が届くとよいと思います。 (松本委員)	令和3年度の新規事業の巡回支援(保育者支援事業)では、支援員から保育従事者に対し、発達心理の面での専門的な提案・助言を行います。(個別支援ではなく機関支援)発達気になる子どもの増加に伴い配慮の内容も多様化

				<p>していることから、保育と発達心理の専門性を繋ぐことで保育の質の向上を支援するために事業を新設したものです。</p> <p>直接アドバイスを受けるのは各施設の保育従事者ですが、必要に応じて発達が気になる子どもの保護者に対しする施設の接し方等についてのアドバイスも行います。</p> <p>診断や検査を受けることをゴールにするのではなく、子どもが過ごしやすい保育を提供する手助けをすることで、子どもとその保護者への支援になると考えています。</p>
			<p>アドバイザーの巡回をするとの事ですが、保育士に対してのアドバイザーからの助言だけでなく、研修、情報共有も望みます。</p> <p>(佐々木委員)</p>	<p>当支援事業は、各施設での保育の観察とその後のカンファレンス（相談・助言・提案）から構成されています。</p> <p>カンファレンスでは支援員（アドバイザー）が発達心理の専門家としての解釈を伝えつつ、各施設の保育の特色や実現性を考慮した上で保育の幅についての助言提案を行います。それを受け、施設職員と支援員で保育についての検討をし、今後の保育体制等を定めていきます。</p> <p>園全体に対する研修（保育者支援の考え方）については、支援員を交えて事業説明会を3月15、16日に予定しております。</p> <p>また、当支援事業は、児童個別に対する巡回支援とは違い機関支援として保育そのものを対象としておりますので、カンファレンスで行われた内容は施設内で共有することになります。</p>